

第1回豊明市総合教育会議 会議録

日時：令和元年12月26日（木）午後2時00分～

場所：豊明市役所東館3階教育委員会室

構成員

市長	：小浮 正典
教育委員会 教育長	：伏屋 一幸
同 教育長職務代理者	：市野 光信
同 委員	：久留島 夕紀
同 委員	：長山 加代子
同 委員	：青木 睦

事務局

行政経営部長	：藤井 和久
秘書広報課長	：馬場 千春
同課長補佐	：山田 隆貴

関係部局

教育部長	：小串 真美
学校支援室長	：坂井 朋弘
学校教育課長	：高木 安司

（欠席者なし）

1 開会宣言

2 あいさつ

市長 3中学校の生徒と意見交換を行った。意見もしっかりあり、なんてすごい子どもたちがいるんだと感激した。通学路の要望など様々な意見をいただいたので、改善できるところから改善していきたい。

教育長 委員の皆さんには12校とフレンドひまわり2校を回っていただきました。学校からの要望や意見も出て、実情も知ることができました。教員の多忙化解消のため、こんなことまで取り組まれているとの話では、

家庭訪問をなくしたり清掃時間を短くしたとも聞きました。今後も、月の残業時間を45時間以内にできるよう、働きかけていきたい。

事務局 傍聴希望があるため、委員に確認。異議なしで傍聴者1名の入場を認める。

※会議の進行が事務局から市長へ移行

3 議題

(1) 教育委員の学校訪問に係る報告について

委 員

スーパーバイザーの授業の様子を見てきた。全校で協同の学びが実践できていると感じた。全校を回ったが、授業中伏している子がいなくなり、学びの声が教室から聞こえるようになった。同時に、先生と子ども同士の関係がしっかりしてきたと感じられるようになった。

ゴールのない取り組みではあるが、手を緩めると積み上げてきたものが崩れてしまう。今後も挑戦し続けて欲しい。

外国籍の子どもたちについて、ベトナム人の人口が増えており、生活に必要な日本語が必要な子が多様化している。市では、学校やプラスエデュケートに協力をしてもらっているが、定員を超えており期間を短縮しなければならない。また、教育に理解を示さない親もいる。

二村台小学校になると、100人の日本語教育が必要な子どもたちが集まることになる。市として、外国籍の子の学ぶ権利を確立してほしい。

フレンドひまわりが2か所になり、環境の良い北部、駅に近い南部と、子どもの選択肢が広がった。ただフレンドひまわりから帰る際にバスがなく歩いて帰る必要があるため、ミニバスサービスができると利便性が高まる。

市 長

協同の学びについてはその通りだと感じている。

日本語教育については、多世代交流館の中に場所を作る。プラスエデュケートは外国籍の人口が増えているので定員を超えている。教える人が不足している

教育長

親が子ども以上に日本語ができないところにも問題がある。それも重要な課題と認識している。学校では取り出し授業が行われているが、親からなぜうちの子が取り出し授業を受けなければならないか違和感

があり、現場の教員としてそこがもどかしいと感じている。プラスエデュケートは講師が1年契約なので、あまり増やせない。市としては長期で契約できるように検討していきたい。

フレンドひまわりの送迎は、公共交通の合間を使っても費用的にかかるので、簡単にはできない。人数が限られているなら、タクシー事業者との契約も検討できるのでは。

委 員

栄中学校の教室で基準照度を満たしていない教室が一部ある。ICT機器を導入するにあたり、必要な改修も行ってほしい。省エネ関連の補助が使えないかも検討してほしい。

雨漏りは建物に対するダメージが大きい。電気配線等が近くにあるところもある。

小学校で、コンセントにほこりがたまっていたり、割れたりしているところがある。感電につながるので、点検・修繕を行ってほしい。

ICT教育を進めるにあたり先生のパソコンが不足している。

教員の多忙化解消のために、朝の打合せをやめている学校もあるようだが、それで本当に情報共有ができていないか疑問だ。

日本語教育のサポーターに、日本語ができるベトナムの大学生が使えないか。

学校の災害マニュアルは大丈夫か。

学校訪問し、地域とのつながりができている学校は落ち着いていると感じた。

市 長

暗いのであれば改修をする。

雨漏り対策は早めに行う方針で、それは学校に限らず。

コンセントについては、わかる人でチェックする。その他についてはクーラー整備の後になる。

朝の打合せは重要と認識している。コミュニケーションが希薄になってしまう。

ベトナムからの大学生については進める方向で検討を。

災害マニュアルとして、雨の時は暴風で学校は閉まる。地震はいつ来るかわからない。無理に帰さず親への引き渡しをする。

委 員

エアコンの設置はありがたかった。また支援員の配置もありがたか

った。

統廃合で、学校の希望とは少し異なり、二村台小学校の職員室の空間が分かれてしまうことは建物の構造上仕方ないが、様々なことに関して子どもファーストで進めてほしい。

不登校の子どもをセンター長が家まで行き連れてきている。そういった子どもたちのために唐竹小学校跡地の利用をしては。またセンターで異年齢の子どもたちで関わると、うまくいくケースもある。

市 長

引きこもりについて、市では力を入れている。

不登校児童の居場所として、唐竹小学校跡地施設に学習室ができる。

委 員

協同の学びができています。先生方もスーパーバイザーの話を聞く姿勢が積極的になっている。

外国籍の人への日本語教育は今後も不可欠で、双峰、唐竹以外の学校にも、必要な子どもは数人ずついる。

通学路の保全と草取りのお願い。またブロック塀の調査を行い、心配なところは考えたほうが良いのでは。

市 長

通学路の草刈りはやります。ブロック塀の点検は、通学路を中心に進めている。

(2) 多世代交流館についての市と教育委員会の連携

※市長より多世代交流館について説明

市 長 現在の事務局は企画政策課が行っている。いろいろな団体が交流することで、各団体の活動が活性化されることを期待している。

※委員からの質問について市長が回答した

委 員 エレベーターは1基のみですか。

市 長 1基のみですが、24人乗りの大型の物を設置予定です。

委 員 3階の調理室は、中央公民館にあるものが移設されるものですか。

市 長 違います。講座用のものです。

委 員 ラウンジとはどんな場所か。

市 長 自由に飲食やイベント、談笑をする場所です。

委 員 不登校の子どもたちが使える場所はどこですか。

市 長 3階の学習室です。

委 員 子どもがパソコンを使って学習できるスペースは。
市 長 ラーニング室です。Wi-Fi 環境整備する予定です。
委 員 プールの跡地は。
市 長 どんぐり学園と同じような施設を作る。
委 員 管理は誰がするのか。
市 長 全体管理する所を作ります。
委 員 乗り入れするバスは。
市 長 ひまわりバスです。
委 員 運動場は。
市 長 自由に使えるが、安全に使えるように利用の制限はつけます。
委 員 利用できる時間は。
市 長 基本的には午前 9 時から午後 9 時だが、午前 9 時から午後 5 時のところもある。

事務局 意見や質問も出尽くしたようですので、以上で総合教育会議を終了します。